

研究計画名

「Robotic Process Automation (RPA) 導入が薬剤師業務および患者アウトカムに与える影響の評価」

(別添)

京都大学医学部附属病院薬剤部において実施している臨床研究について

京都大学医学部附属病院薬剤部では、薬の安全で有効な使用を目的にさまざまな取り組みをおこなっています。中でも臨床研究の一環として、保険診療情報を利用して、以下のような研究を行なっています。このような研究は、厚生労働省が示している「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って行なっているものです。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。患者さん一人ひとりの個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払うことから患者さんの不利益となることはありません。特に、患者さん個人を特定できるような情報は全て誰か解らないように符号化されています。また、この研究によって得られた結果は学会発表や論文などの手段によって公開する予定ですが、研究以外の目的には使用しません。この研究を実施することで、薬の使用方法をより適切なものへと改善することができますので、今後多くの患者さんの薬物治療に対して役立つものと考えられます。是非、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 研究題目：

Robotic Process Automation (RPA) 導入が薬剤師業務および患者アウトカムに与える影響の評価

2. 研究機関の名称・研究責任者の氏名：

京都大学医学部附属病院薬剤部 教授 寺田智祐

3. 研究目的・意義：

近年、医師から薬剤師へのタスク・シフト/シェアが進展しており、病棟業務、外来業務、薬効・薬物動態解析支援業務など、さまざまな分野で薬剤師の職能拡大が進んでいます。薬剤師が診療に関与することで、業務効率の向上や患者アウトカムの改善が報告されています。一方で、薬剤師の業務時間やマンパワーの制約から、業務の一部を代替・支援する仕組みの導入が求められています。Robotic Process Automation (RPA) とは、パソコン上で行われる定型作業を自動化するソフトウェアであり、海外の医療施設においても導入が進んでいます。当院薬剤部では 2024 年に RPA を導入し、調剤室、医薬品情報室、病棟業務など各部署の業務に応じた RPA を複数開発・実装しています。これにより、業務効率の向上は確認されていますが、患者さんに対してどのような効果があるか、薬剤師の業務量がどの程度軽減されたかといった具体的な数値を用いた検討は十分に行われていません。そこで本研究では、RPA の開発および実装が、患者さんの治療および薬剤師の業務に与える影響を評価します。本研究の成果は、薬物治療における RPA の有用性に関する科学的根拠を提供し、今後の医療現場における業務改善や薬物治療の質向上に資することが期待されます。なお、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

## 研究計画名

「Robotic Process Automation (RPA) 導入が薬剤師業務および患者アウトカムに与える影響の評価」

4. 研究実施期間：研究機関の長の実施許可日から 2031 年 3 月 31 日まで。
5. 対象となる試料・情報の取得期間：2014 年 1 月 1 日～2026 年 1 月 31 日に京都大学医学部附属病院に入院した患者さん
6. 試料・情報の利用目的・利用方法  
対象期間に当院を受診した患者さんを対象に、電子カルテに記載されている、項目 7 に記載した情報を用いて、RPA 導入の有用性を評価いたします。本研究で用いた試料・情報の二次利用及び他研究機関への提供はございません。研究に用いる情報は個人が特定されないように ID 化し、薬剤部で厳重に保管します。研究が終了した際には廃棄されます。詳しい情報をお知りになりたい方は、他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する資料を入手・閲覧することができますので、下記担当者までお問い合わせください。また、研究の対象となることを辞退されたい場合には、結果の公開前であれば対応いたしますので、遠慮なくお申し出ください。研究参加の同意をされなくても一切不利益を受けることはありません。
7. 利用または提供する試料・情報の項目  
対象となる患者さんの基本情報、疾患名、病歴、処方歴、検査値に関する情報を利用する予定にしております。
8. 利用または提供を開始する予定日  
京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に利用を開始します。
9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称：  
京都大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部 幾田慧子（電話：075-751-3581）
10. 研究の資金・利益相反  
本研究は、運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けておりません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規定」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。
11. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等の対応方法：
  - 1) 研究課題ごとの相談窓口  
京都大学医学部附属病院 薬剤部 幾田慧子  
(Tel) 075-751-3581 (E-mail) yakuzai@kuhp.kyoto-u.ac.jp

研究計画名

「Robotic Process Automation (RPA) 導入が薬剤師業務および患者アウトカムに与える影響の評価」

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)